

# 新公会計 NEWS

《第 2 号》

～ 大阪府の財務状況を分かりやすく！ ～

## 貸借対照表（バランスシート）の『負債・純資産の部』について

💡 今回は、『貸借対照表』の中の『負債の部』と『純資産の部』について解説します。



「負債」は、将来支払わなければならない債務で、支払時期に応じて、流動負債と固定負債に分けて表示しています。

大阪府の「負債」の合計は、**6兆8,821億円**で、H24年度よりやや減少しています。  
(H24年度に比べ141億円減)

「流動負債」は、1年以内に支払時期が到来する負債です。  
(H24年度に比べ426億円増)

施設の建設や改修等のために発行した地方債の残高のうち、翌年度(H26)に支払予定の額です。  
(H24年度に比べ390億円増)

翌年度(H26)に支払予定の期末手当及び勤勉手当のうち、H25年度の費用とすべき金額を計上しています。  
(H24年度に比べ9億円増)

### 貸借対照表

(単位：億円)

	平成 25 年度	平成 24 年度
<b>負債の部</b>	<b>68,821</b>	<b>68,962</b>
流動負債	9,249	8,823
地方債	8,457	8,068
賞与引当金	439	430
その他	352	325

「負債の部」の続きです・・・

「**固定負債**」は、1年を超えて支払時期が到来する負債です。

(H24年度に比べ568億円減)

地方債の残高のうち、翌年度(H26)に支払う予定の金額(流動負債に計上した額)を除いた額です。

(H24年度に比べ399億円増)

全職員が自己都合により退職した場合に必要な退職手当を計上しています。

[退職手当の支給率等に乗じる調整率が引き下げられました。(平成25年4月1日)]

(H24年度に比べ939億円減)

「**純資産**」は、資産の部の合計から負債の部の合計を引いたものです。

また、「純資産」はこれまでの収入と費用の差額であり、それは「現在までの世代が負担してきた金額」に相当します。

大阪府の「純資産」は、**1兆5,855億円**で、H24年度から、やや増加しています。

(H24年度に比べ144億円増)



	平成25年度	平成24年度
<b>負債の部</b>		
<b>固定負債</b>	<u>59,572</u>	<u>60,140</u>
地方債	53,700	53,301
退職手当引当金	5,653	6,592
その他	219	247
<b>純資産の部</b>	<u>15,855</u>	<u>15,711</u>
<b>純資産</b>	<u>15,855</u>	<u>15,711</u>
(うち当期純資産増減額)	144	14
☆金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。 このため、表内での合計等が一致しないことがあります。		
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>84,676</b>	<b>84,674</b>

府民ひとり当たりの貸借対照表 (バランスシート)

資 産 95万7千円	負 債 77万8千円	↑ 81.3%
	純資産 17万9千円	↓ 18.7%

将来世代の負担が8割を超えています。

現在までの世代が負担してきた金額です

《参考》「大阪府推計人口」8,844,756人 (H26.4.1 現在)



次回は、『行政コスト計算書』について解説します!

新公会計制度による大阪府の財務諸表の掲載は、大阪府ホームページ(カテゴリーからさがす)⇒「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」をご覧ください。